

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-535636(P2004-535636A)

【公表日】平成16年11月25日(2004.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2004-046

【出願番号】特願2003-508015(P2003-508015)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 3 5 7 A

G 0 6 F 3/00 6 5 7 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月10日(2005.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホームネットワークに接続されたネットワークコンポーネントの表示方法であって、固有の識別子(I 1, I 2, I 4, I 5, I 6)によって、前記ネットワークに接続された表示デバイス上で、電子デバイスのネットワーク内に取り入れられたネットワークコンポーネントを描写するステップと、

ネットワークコンポーネント(1, 2, 4, 5, 6)を表わしている固有識別子に対して表示デバイス(4)上で絶対的表示位置若しくは相対的表示位置を割当てするステップとが含まれている形式のものにおいて、

ネットワークコンポーネントを描写する固有の識別子(I 1, I 2, I 4, I 5, I 6)毎の表示位置の不変的な配列を作成し、；この場合前記不変的な配列は、個々のネットワークコンポーネントが現下においてネットワークに接続されているかどうかには依存せず、前記表示位置は、個々のネットワークコンポーネントの空間位置からは独立し、

さらに現下においてネットワーク内に取り入れられたネットワークコンポーネントの固有の識別子(I 1, I 2, I 4, I 5, I 6)を、前記作成された表示位置の不変的な配列に従って表示デバイス上で同時に表示するようにしたことを特徴とする方法。

【請求項2】

前記識別子(I 1, I 2, I 4, I 5, I 6)は、象徴的な記号、例えばアイコンである、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記表示位置は、ネットワークコンポーネント(1, 2, 4, 5, 6)内に記憶され、ネットワーク(3)内への取り入れ事象が生じた時に当該ネットワークコンポーネントから読み出される、請求項1または2記載の方法。

【請求項4】

前記ネットワークコンポーネント(1, 2, 4, 5, 6)の各々に、個々の認証識別子が割り当てられ、表示位置の割当ては、当該認証識別子の使用によって引き起こされる、請求項1から3いずれか1項記載の方法。

【請求項5】

その絶対表示位置が既に割当てられている、ネットワークコンポーネントの取り入れ事象において、新たな絶対表示位置が、関係する1つまたは複数のネットワークコンポーネント毎に定められる、請求項1から4いずれか1項記載の方法。

【請求項6】

ホームネットワークに接続されたネットワークコンポーネントを表示するための装置であって、

固有の識別子（I 1，I 2，I 4，I 5，I 6）によって、前記ネットワークに接続された表示デバイス上で、電子デバイスのネットワーク内に取り入れられたネットワークコンポーネントを描写するための手段と、

ネットワークコンポーネント（1，2，4，5，6）を表わしている固有識別子に対して表示デバイス（4）上で絶対的表示位置若しくは相対的表示位置を割当てするための手段が含まれている形式の装置において、

ネットワークコンポーネントを描写する固有の識別子（I 1，I 2，I 4，I 5，I 6）毎の表示位置の不変的な配列を作成するための手段と、；この場合前記不変的な配列は、個々のネットワークコンポーネントが現下においてネットワークに接続されているかどうかには依存せず、前記表示位置は、個々のネットワークコンポーネントの空間位置からは独立し、

現下においてネットワーク内に取り入れられたネットワークコンポーネントの固有の識別子（I 1，I 2，I 4，I 5，I 6）を、前記作成された表示位置の不変的な配列に従って表示デバイス上で同時に表示するための手段が設けられていることを特徴とする装置。

【請求項7】

表示位置を記憶するための手段又は制御装置によりネットワークコンポーネント（1，2，4，5，6）に対する個々の表示位置の割当てを可能にする割当てテーブルが設けられている、請求項6記載の装置。

【請求項8】

前記各ネットワークコンポーネント（1，2，4，5，6）は、特定の識別子（I 1，I 2，I 4，I 5，I 6）によって、例えばアイコンによって、表示デバイス（4）上に表すことが可能である、請求項6または7記載の装置。

【請求項9】

前記ネットワーク（3）は、IEEE 1394規格のネットワークである、請求項6から8いずれか1項記載の装置。